

## 数字で見る平成20年度

開館以来、毎年入館者数を増やし、一年間に**907,921**人が未来館を訪れた。

8月の来館者数は**189,841**人となり、月間来館者数で歴代一位となった。

合わせて**286,876**人が企画展「エイリアン展」と「世界最大の翼竜展」を楽しんだ。

中国、香港、シンガポールで計**208,946**人が、未来館の3つの企画展を体験した。

実験工房の教室・イベントを**295**回ひらき、のべ**4,254**人が実験に参加した。

未来館と教育機関などが連携して行った科学教育関連プログラムに、のべ**18,572**人の生徒が参加した。

未来館内外の科学コミュニケーター向け研修を**47**回開催し、計**173**人が参加した。

約**200**人の研究者・技術者が未来館の企画開発に密接に関わった。

のべ**9,794**名のボランティアが**64,771**時間の活動で未来館を支えた。

**34,940**人の友の会会員が未来館を通して科学を楽しんでいる。

ホームページへは年間総数で**12,218,596**件のアクセスがあった。

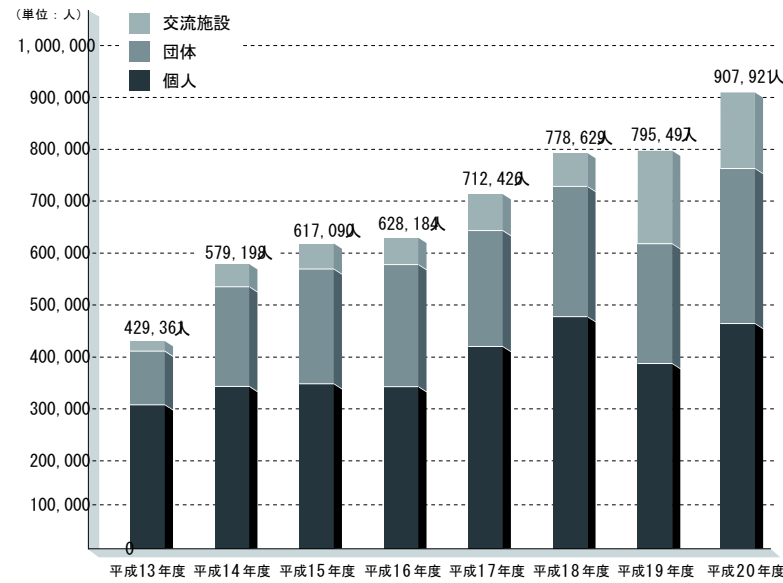
未来館がマスコミに取り上げられた数は**3,218**件にのぼり、

これを広告費に換算すると**45**億円以上に相当する。

## 来館者データ

### 開館時から8年間の来館者数

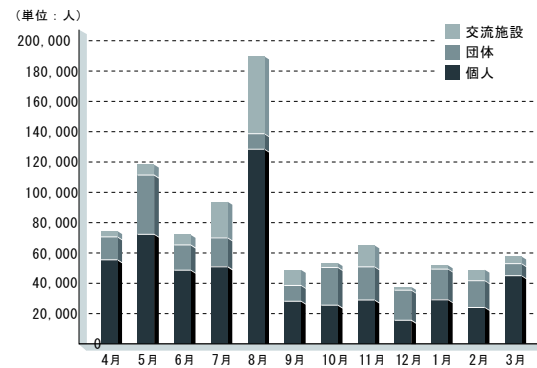
19年度に続き、20年度も来館者数は前年度を上回った。増加要因としては、春に開催した「エイリアン展」、夏の「世界最大の翼竜展」などの企画展や大規模イベントの来館者が多かったことが挙げられる。特に5月と8月の来館者数は、ともに月間10万人を超え、例年の同時期を大きく上回った。一般の人々の興味をひくテーマ設定での企画展及びイベントの開催が大きな効果を上げたといえる。



### 平成20年度

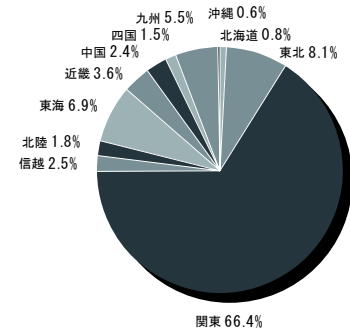
#### 来館者数の内訳(月別統計)

交流施設で開催した「世界最大の翼竜展」などの企画展や大規模なイベントにより、8月には月間来館者が18万人を記録。開館以来、歴代一位となった。また、5月としても過去最高の11万人を超える来館者は、特別企画展「エイリアン展」への関心の高さによるものである。



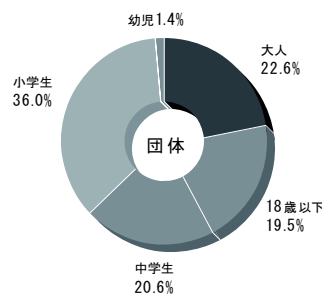
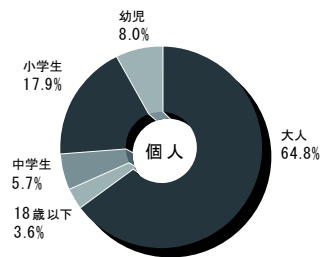
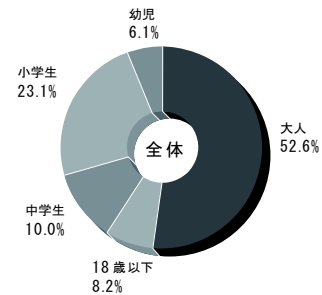
#### 団体来館者における地域別統計

関東甲信越への誘致強化の実施により、同地区からは全体の69% (前年対比3%増)の団体が来館した。東北、東海、近畿地域からは中学生(静岡県は小学生)、九州地区からは高校生の修学旅行などでの来館数が安定している。



#### 年代別内訳

開館以来、来館者の割合は約半数が大人、続いて小学生・中学生・18歳以下(高校生含む)の順で一定している。団体では、修学旅行などの学校団体が多くなるため、高校生以下の年代層が多くなり、個人では逆に高校生・中学生の来館が少なく、大人の割合が大きくなっている。



## 広報活動実績

### メディア対応件数

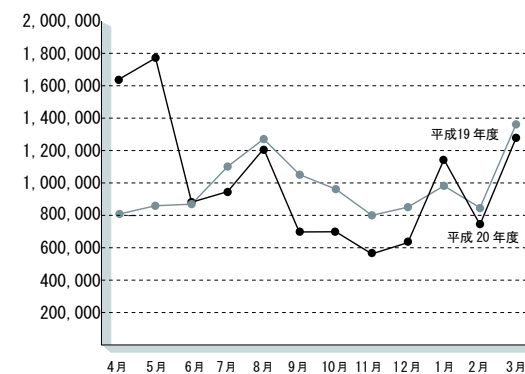
年月	媒体種類						合計
	テレビ	ラジオ	雑誌	新聞	WEB	他	
H20 / 4	21	10	68	174	21	27	321
H20 / 5	10	4	44	78	18	24	178
H20 / 6	13	2	45	218	26	30	334
H20 / 7	12	3	49	141	17	25	247
H20 / 8	13	4	34	162	52	19	284
H20 / 9	14	3	40	177	62	29	325
H20 / 10	33	6	49	157	41	15	301
H20 / 11	18	0	32	118	34	23	225
H20 / 12	11	0	27	127	34	13	212
H21 / 1	13	7	37	104	34	12	207
H21 / 2	16	1	36	97	24	18	192
H21 / 3	22	1	60	237	40	32	392
合計	196	41	521	1790	403	267	3,218

### 広告換算費

年月	媒体種類			合計
	テレビ	新聞	雑誌	
H20 / 4	¥450,099,076	¥16,462,135	¥126,548,586	¥593,109,797
H20 / 5	¥309,532,659	¥55,650,627	¥11,747,471	¥376,930,757
H20 / 6	¥194,435,986	¥195,795,458	¥11,824,487	¥402,055,931
H20 / 7	¥66,133,996	¥200,726,931	¥19,575,413	¥286,436,340
H20 / 8	¥403,350,039	¥132,921,719	¥10,214,371	¥546,486,129
H20 / 9	¥102,434,000	¥61,694,245	¥7,206,076	¥171,334,321
H20 / 10	¥335,066,651	¥88,827,177	¥6,978,582	¥430,872,410
H20 / 11	¥349,105,329	¥115,985,792	¥14,255,288	¥479,346,409
H20 / 12	¥63,363,332	¥47,235,074	¥6,796,548	¥117,394,954
H21 / 1	¥77,211,330	¥177,810,179	¥5,850,125	¥260,871,634
H21 / 2	¥233,582,665	¥450,099,076	¥7,301,956	¥691,983,707
H21 / 3	¥447,436,660	¥117,997,810	¥10,544,184	¥575,978,654
合計	¥3,031,751,723	¥1,293,396,294	¥238,843,087	¥4,563,991,104

## 未来館 Web サイト アクセス数集計

### ページアクセス数と前年度比較



平成20年度	アクセス数	平成19年度	アクセス数	前年度比較
H20 / 4	1,637,543	H19 / 4	812,129	825,414
H20 / 5	1,776,498	H19 / 5	862,110	914,388
H20 / 6	870,761	H19 / 6	870,387	374
H20 / 7	913,668	H19 / 7	1,095,601	-181,933
H20 / 8	1,203,324	H19 / 8	1,272,587	-69,263
H20 / 9	734,205	H19 / 9	1,046,795	-312,590
H20 / 10	735,418	H19 / 10	965,556	-230,138
H20 / 11	557,555	H19 / 11	806,519	-248,964
H20 / 12	616,550	H19 / 12	850,867	-234,317
H21 / 1	1,138,525	H20 / 1	985,120	153,405
H21 / 2	753,070	H20 / 2	837,910	-84,840
H21 / 3	1,281,479	H20 / 3	1,363,348	-81,869
合計	12,218,596	合計	11,768,929	449,667

## 友の会活動実績

平成20年度友の会会員数  
(平成21年3月31日現在)

個人会員	2,999人(うち「プラス会員 個人」96人)
家族会員	家族会員 31,941人/7,831組(うち「プラス会員 家族」995人)
合計	34,940人(うち「プラス会員」1,091人)

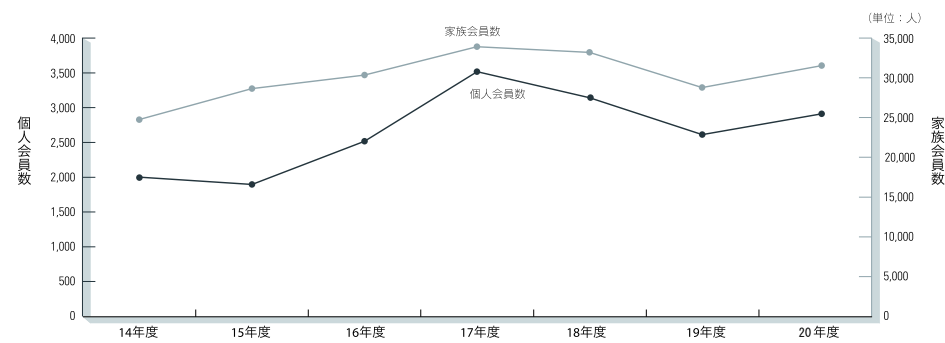
「プラス会員」とは、未来館を積極的に応援し、未来館の活動を一緒に作っていく会員の集まりとして、平成19年度に創設した会員制度

### 会員数の推移

(単位:人、もしくは組)

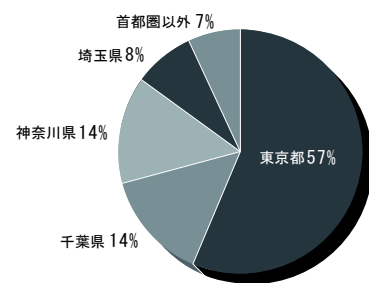
	平成20年									平成21年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個人会員数	2,694	2,875	2,915	2,920	2,948	2,889	2,901	2,825	2,773	2,873	2,900	2,999
家族会員数	29,447	30,567	30,437	31,192	32,861	31,411	31,084	30,689	30,201	31,370	30,826	31,941
(家族数)	7,132	7,436	7,421	7,611	8,001	7,671	7,601	7,509	7,391	7,680	7,545	7,831
会員総数	32,141	33,442	33,352	34,112	35,809	34,300	33,985	33,514	32,974	34,243	33,726	34,940

### 個人・家族会員数の推移

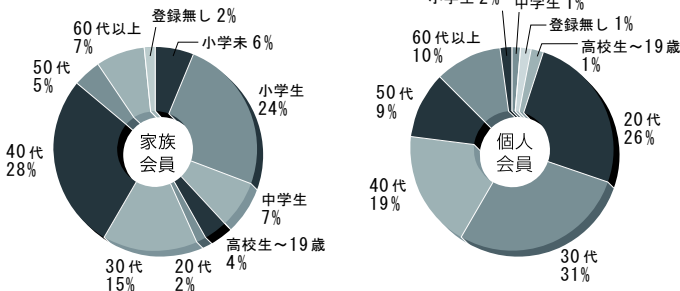


### 会員の属性

#### 都道府県別会員数



#### 年代別会員数



## スタッフの館外活動実績

### 講演・発表

講演・発表の場	発表者氏名	発表日
ASPAC 年次総会 (タイ)	貞光千春、山口直子、干場真弓、渡邊優子、安藤菜穂子	H20/4/2~5
第49回科学技術週間サイエンスカフェ (ファシリテーター)	新井真由美	H20/4/18
東京大学 科学技術インタープリター養成プログラム	山口美佳、松岡均、白井暁彦	H20/5~6
日本地球惑星科学連合2008年大会	松岡均、新井真由美	H20/5/25
筑波大学大学院人間総合研究科 キャリアパス合宿	菅原剛彦	H20/5/30
ECSITE 年次総会 (ハンガリー)	安藤菜穂子	H20/5/31
ロボティクス・メカトロニクス講演会	佐藤雅一、榎野貴子、澁谷知子	H20/6/7
日本ミュージアム・マネジメント学会 第13回大会	細川聡子、江水和仁、森田由子、菅原剛彦	H20/6/8
青森市立造道中学校 進路指導講演会	寺嶋加奈子	H20/6/11
北里大学薬学部 平成20年度前期 薬学部大学院修士課程生物化学特論	橋本裕子	H20/6/12
わたしたちははじめる地球の未来 G8 科学技術大臣会合沖縄開催記念 サイコロ地球塾2008 未来へつなぐサイエンス&エコロジー (ワークショップ)	澁谷知子、渡部晃子、増淵ふみ、渡邊晃子、清水斉	H20/6/16
サイエンスカフェ 国際極地の日 (ファシリテーター)	寺嶋加奈子	H20/6/18
PSC1-10 (スウェーデン)	山本広美、小沢淳	H20/6/24~28
東京工芸大学 メディア画像学科 特別講義	白井暁彦	H20/7/3
日本科学未来館 科学コミュニケーター研修プログラム 予備講習実践事例発表会	今岡由佳子	H20/7/14
第3回「創造性の育成塾」(館長講演随伴 講義・実演)	五十嵐海央	H20/8/6
平成20年度 女子中高生夏の学校2008 ~科学・技術者のたまごたちへ~	新井真由美	H20/8/15
アジア青年の家 "Think Globally, Act Locally" (館長講演随伴 講演)	三ツ橋知沙	H20/8/19
東京工芸大芸術学部デザイン学 (制作基礎F)	戸次真一郎、細川聡子	H20/9/27~28
はこだて未来大学 08年後期「現代の科学」学部共通 教養基礎科目群	橋本裕子、竹内恵、細川聡子	H20/10~1
東京大学大学院情報学環教育部 08年後期 学際理数情報学基礎B 「科学技術リテラシー向上のためのコミュニケーション」	山本広美、池辺靖、石川泰彦、小沢淳、細川聡子、今岡由佳子、黒川結美、貞光千春	H20/10~2
ASTC 年次総会 (アメリカ)	松岡均	H20/10/18~21
宇宙線研究所一般公開「コスミックカフェ2008」(司会進行)	今津杉子、澁谷知子	H20/10/24~25
全国科学館連携協議会東海ブロック研究会	福永朋子	H20/10/30
第52回宇宙科学技術連合講演会	新井真由美、増淵ふみ	H20/11/6
JSTC 2008 (日本大型映像協会)	白井暁彦	H20/11/10
青森県立青森高等学校 進路講演会	寺嶋加奈子	H20/11/13
サイエンスアゴラ2008	「研究者とのかたるミニトーク」(ファシリテーター) 吉田健二、提髪玲子、桑子朋子、寺嶋加奈子 「国境を越えた科学のコミュニケーション」エコロジー編 石川泰彦 「科学情報とウェブ」 楠見春美、小沢淳 「サイエンスプレゼンテーションコンテスト」(司会進行) 五十嵐海央 「発泡スチロールのリサイクル~リモネンリサイクルのしくみ」(ワークショップ) 澁谷知子 「語り場~これからの科学コミュニケーター育成を考える」(ファシリテーター・司会) 堀川麻由子、松島淳一 「MEGASTAR-II Titan 消えない流れ星」(解説) 代島慶一、谷井裕美子	H20/11/22~24 H20/11/23 H20/11/23~24 H20/11/23 H20/11/23 H20/11/24 H20/11/22~24
「日本・エジプト科学技術年2008」クロージングセッション基調講演 (館長講演随伴 講演)	岡山悠子	H20/12/1~6
21世紀型科学教育創造VI-科学教育を通じた地域連携「地域連携活動の活性化を目指した交流の場の創出~科学教育連携シンポジウム~」	岡野麻衣子、長田純佳、田中園子、菅原剛彦	H20/12/7
BMB 2008 日本分子生物学会年会 日本生化学会大会 合同大会	芝塚紗和子、一木良子、細川聡子、菅原剛彦、橋本裕子	H20/12/9
東京大学 大学院 科学技術インタープリター養成プログラム「現代科学技術実験実習I」	白井暁彦、和田孝志	H20/12/4~13
江戸川総合人生大学	提髪玲子	H20/12/15
カーボンマイナスこどもアクション表彰式・講演会 (館長講演随伴 講演)	芝塚紗和子、豊田倫子、高見裕一	H21/1/14
東京都教職員研修「小学校教員のための観察、実験研修」	渡部晃子	H21/1/14.21.28
国立科学博物館「ルーシーと私の楽しむカガクの時間」	森田由子	H21/2/28
生理学研究所 せいりけん市民講座 (実演・ファシリテーター)	黒川結美	H21/3/8

## 平成20年度に関わった主な研究者・技術者・研究機関 (順不同・敬称略)

### 執筆実績

媒体名	執筆者氏名	発行日
東京新聞、中日新聞「わくわくサイエンスレポート～日本科学未来館の現場から～」	黒川絳美、山口美佳、岡山悠子、貞光千春、今津杉子、細川聡子、桑子朋子	H20/4～H21/32
静岡新聞 子供科学新聞増刊号「日本科学未来館発 納得！科学ニュース」	森田由子、大石和江、芝塚紗和子、白井暁彦、松岡均、細川聡子、提提玲子、水野社、桑子朋子、五十嵐海央、高橋里英子	H20/4～H21/3
自然科学研究機構基礎生物学研究所HP「開催報告 展示の前で研究者に会おう！～光るメダカの観察から～」	黒川絳美	H20/5/20
海洋研究開発機構 広報誌「CDEX ニュースレター「地球発見」第7号」	杠知子	H21/3
発明 The Invention (発明協会)「M other Mars」	新井真由美	H20/7～H21/2
メディカルバイオ(オーム社)「ライフサイエンスQ&A」	貞光千春、山口美佳、森田由子、菅原剛彦	H20/5～H21/3
Japanese Jprmal of Science Communication, No.5 (2009) 「相互交流と情報交換の場の創生によるサイエンスコミュニケーションの活性化：サイエンスアゴラ2006から2007、2008へ」	谷村優太	H21/3

### 外部委員

委員会名等	役職	氏名
JAXA 宇宙オープラボ	審査委員	新井真由美
地質の日事業推進委員会	委員	新井真由美
生態工学会	理事、広報委員	新井真由美
日本地球惑星科学連合	男女共同参画委員、教育問題検討委員	新井真由美
日本VR学会学生バーチャルリアリティコンテスト実行委員会	実行委員	白井暁彦
フランス「Laval Virtual Revolution 2008 (国際VR作品公募部門)」	チェアマン	白井暁彦
社団法人日本セラミックス協会	出版委員	寺嶋加奈子
東京工業大学「第1回高校生バイオコンテスト」	審査委員	貞光千春
東京工業大学「第4回バイオコン2009」	審査委員	貞光千春
FLL2008	審査委員	佐藤雅一
SSH 運営指導委員会	委員	岡野麻衣子
21世紀の科学教育を創造する会	実行委員	山本広美、酒井夕子

### 館長 毛利衛の講演・発表

会議名・講演名	主催	開催地
JSCA 関西支部創立25周年 第2回記念事業 未来を語ろう 建築・地球、そして宇宙「未来建築としての宇宙ステーション」	社団法人日本建築構造技術者協会関西支部	大阪国際会議場 特別会議場
科学技術週間シンポジウム「宇宙から見た地球環境」	東京都	日本科学未来館
5th Science Centre World Congress "Living the Green Message", "Forging Stronger Linkages Between Scientists and Science Centres: Making Difference Through True Partnerships", "Response from Sc. Centres"	5th Science Centre World Congress	カナダ (トロント)
台日科学技術リテラシーセミナー「宇宙から見た人間の存在」	行政院国家科学委員会	台湾 (台北)
第3回「創造性の育成塾」 「何のために勉強しているの？ 私たちの未来、毛利さんと語ろう」	NPO ネットジャーナリスト協会	財団法人人材開発センター富士研修所
「アジア青年の家」"Think Globally, Act Locally"	内閣府	沖縄県名護市名桜大学ホール
"Gifts from Space: Why We Challenge the Unknown"	豪日協会	オーストラリア (ホバート)
Questacon 20th Anniversary Event "Reach for Your Stars!"	Questacon	オーストラリア (キャンベラ)
"Reach for Your Stars!"	日本大使館	オーストラリア キャンベラ日本人補修校
"Reach for Your Stars!"	エジプト教育省、在エジプト日本大使館	エジプト エル・ナセル特殊語学学校
「日本・エジプト科学技術年2008」クローージングセッション基調講演 "Challenging the Unknown"	エジプト教育省・在エジプト日本大使館	エジプト カイロ大学
"Reach for Your Stars!"	在エジプト日本大使館	エジプト カイロ日本人学校
カーボンマイナス子どもアクション表彰式・講演会「地球人としての私たち」	江東区	ティアラこうとう

### 常設展示

井田茂 (東京工業大学)  
 中村泰 (宇宙航空研究開発機構)  
 亙慎一 (情報通信研究機構)  
 澤岡昭 (大同工業大学)  
 情報通信研究機構 (NICT)  
 野口聡一 (宇宙航空研究開発機構)  
 クリステル・フォアグレサング (欧州宇宙機構)  
 松浦真弓 (宇宙航空研究開発機構)  
 若田光一 (宇宙航空研究開発機構)  
 岩田洋夫 (筑波大学)  
 八谷和彦  
 船岡正光 (三重大学)  
 榊裕之 (豊田工業大学)  
 石谷治 (東京工業大学)  
 伊藤公平 (慶應義塾大学)  
 木島正志 (筑波大学)  
 白川英樹 (筑波大学)  
 北森武彦 (東京大学)  
 染谷隆夫 (東京大学)  
 平川一彦 (東京大学)  
 谷口義明 (愛媛大学)

### 企画展

長沼毅 (広島大学)  
 佐々木晶 (国立天文台)  
 池上高志 (東京大学)  
 福岡伸一 (青山学院大学)  
 奥田隆 (農業生物資源研究所)  
 豊田丈典 (東京大学)  
 成田憲保 (国立天文台)  
 杉本剛 (神奈川大学)  
 繊維学会

### 実験工房

白川英樹 (筑波大学)  
 勝本元也 (自然科学研究機構)  
 伴野豊 (九州大学)  
 南繁行 (大阪市立大学)  
 池田伸一 (産業技術総合研究所)

### トークセッション、イベントなど

クリステル・フォアグレサング (European Space Agency)  
 岡本丈典 (国立天文台)  
 山野博哉 (国立環境研究所)  
 近藤滋 (名古屋大学)  
 田口精一 (北海道大学)  
 竹永秀信 (日本原子力研究開発機構)  
 柳長門 (自然科学研究機構・核融合科学研究所)  
 藤野純一 (国立環境研究所)  
 布施哲治 (国立天文台ハワイ観測所)  
 長神風二 (東北大学)  
 塩谷光彦 (東京大学)

### 人材育成

小畑順哉 (科学技術振興機構)  
 田村慎一 (科学技術振興機構)  
 矢島正晴 (科学技術振興機構)  
 柴田一浩 (科学技術振興機構)  
 成川衛 (科学技術振興機構)  
 小林康宏 (科学技術振興機構)  
 岸徹 (科学技術振興機構)  
 正木法雄 (科学技術振興機構)  
 引野肇 (東京新聞)  
 妹尾堅一郎 (東京大学)  
 山下光保 (株式会社バンネーションズコンサルティンググループ)  
 八幡紘声 (NPO 法人国際プレゼンテーション協会)  
 上野啓子 (有限会社インタービスタ)  
 津曲公二 (株式会社ロゴ)  
 加藤昌治 (「考具」著者)  
 彦田友治 (株式会社グローバル・ソフト・コミュニケーション)  
 彦田美香子 (株式会社グローバル・ソフト・コミュニケーション)  
 上田昌文 (NPO 法人市民科学研究室)  
 木村龍治 (放送大学)  
 チャーリー西村 (米村でんじろうサイエンスプロダクション)  
 横山広美 (東京大学)  
 春日匠 (大阪大学コミュニケーション・デザインセンター)  
 山科直子 (東京大学)  
 小川義和 (国立科学博物館)

西田佳史 (産業技術総合研究所)  
 加賀美聡 (産業技術総合研究所)  
 光山統泰 (産業技術総合研究所)  
 浅野幅一 (東京工業大学)  
 山口剛 (東京工業大学)  
 品川満 (NTTマイクロシステムインテグレーション研究所)  
 田沼逸夫 (株式会社ブリヂストン)  
 酒井敏 (京都市)  
 西井一郎 (理化学研究所)  
 霜田政美 (農業生物資源研究所)  
 瀬筒秀樹 (農業生物資源研究所)  
 富岡雅寛 (カオスモスマシン)  
 有山一郎 (東京大学、日立情報通信エンジニアリング株式会社)  
 宮川剛 (藤田保健衛生大学)  
 長瀬祐 (株式会社バンダイ)  
 藤原義弘 (海洋研究開発機構)  
 富井健太郎 (産業技術総合研究所)  
 丸山茂徳 (東京工業大学)  
 高橋栄一 (東京工業大学)  
 廣瀬敬 (東京工業大学)  
 玄田英典 (東京工業大学)  
 上野雄一郎 (東京工業大学)  
 太田啓之 (東京工業大学)  
 吉田尚弘 (東京工業大学)  
 藤本正樹 (東京工業大学)  
 巽好幸 (海洋研究開発機構)  
 加藤學 (宇宙航空研究開発機構)  
 小嶋菜温子 (立教大学)  
 大平貴之  
 益川敏英 (京都産業大学)  
 小林誠 (高エネルギー加速器研究機構)  
 広瀬茂男 (東京工業大学)  
 福島E. 文彦研究室 (東京工業大学)  
 藤田勝代 (深田地質研究所)  
 川村喜一郎 (深田地質研究所)  
 館研究室 (東京大学)  
 飯塚哲哉 (農業生物資源研究所)  
 松本武久 (理化学研究所)  
 横山茂之 (理化学研究所)  
 都甲潔 (九州大学)  
 ダリル・メイサー (ユネスコ)  
 佐倉統 (東京大学)  
 脇田玲研究室 (慶應義塾大学)  
 古堅真彦研究室 (岐阜県立情報科学芸術アカデミー)  
 林和弘 (日本化学会)  
 生員直人 (Creative Commons)  
 水島久光 (東海大学)  
 戸田孝 (琵琶湖博物館)  
 小泉成史  
 須永剛志 (多摩美術大学)  
 古堅真彦 (岐阜県立情報科学芸術アカデミー)  
 脇田玲 (慶応大学)  
 本田技研工業株式会社  
 池内克史 (東京大学大学院情報学環)  
 北本朝展 (国立情報学研究所)

## 主な視察者

来館月日	視察者
4/4	法務副大臣 河井克行
4/12	スウェーデン王国 宇宙飛行士 クリステル・フォーグレサング 駐日大使 ステファン・ノレーン
4/16	インド PCC(気候変動に関する政府間パネル)議長/ 2007年ノーベル平和賞受賞者 ラジendra・パチャウリ
5/15	茨城県知事 橋本昌
6/2	ドイツ連邦共和国 2007年ノーベル物理学賞受賞者 ベーター・グリューンベルク
6/5	アメリカ合衆国 カリフォルニア工科大学教授/ 1992年ノーベル化学賞受賞者 ルドルフ・マーカス
6/8	内閣総理大臣 福田康夫 文部科学大臣 渡海紀三朗 アメリカ合衆国 駐日大使 ジョン・トーマス・シーファー
7/12	アメリカ合衆国 宇宙飛行士 エドワード・マイケル・フィンク サンドラ・H・マグナス ニコール・パツノ・ストット 宇宙飛行士 若田光一
8/18	内閣府特命担当大臣(科学技術政策) 野田聖子
8/26	文部科学副大臣 山内俊夫
8/26	文部科学大臣政務官 浮島とも子
10/4	パナマ共和国 駐日大使 アルフレド・マルティス・フエンテス
10/8	大韓民国 科学財団理事長 鄭潤
10/8	スイス連邦 内務省文部科学技術庁長官 マウロ・デルアンブロージオ
10/22	中華人民共和国 東莞市科学技術博物館他一行
10/24	内閣府特命担当大臣(規制改革)/行政改革担当大臣/ 公務員制度改革担当大臣 甘利明
10/28	英国 チャールズ皇太子
10/29	イタリア共和国 レオナルド・ダヴィンチ国立科学技術博物館 館長ミケーレ・ペリーニ
11/8	ニカラグア共和国 駐日大使 サウル・アラナ・カステジョン
11/15	オーストラリア連邦 フリンダース大学学長 マイケル・バーバー 副学長(国際担当) ティーン・フォーブズ
11/18	オーストラリア連邦 イノベーション・産業・技術研究大臣 キム・カー
11/20	中華人民共和国 マカオ科学館理事長 ？榮格 館長 葉賜權
11/22	イタリア共和国 元文部科学大臣 ルイーダ・ベルリングエル ノルウェー王国 オスロ大学教授 スヴェイン・ショーバーク
12/11	フランス共和国 第5回日仏高等教育シンポジウム出席者一行
12/21	エジプト・アラブ共和国 日・エジプト科学技術大学(E-JUST) 設立実行委員会一行
2/1	チュニジア共和国 戦略研究所長 タイエブ・ハドリ
2/12	キューバ共和国 駐日大使 ホセ・フェルナンデス・デ・コシー・ロドリゲス
2/18	台湾 行政院国家科学委員会主任委員 李羅權
3/22	日本ユネスコ協会連盟会長 松田昌士
3/23	大韓民国 宇宙飛行士 イ・ソヨン
3/23	在京大使館 各国大使 オーストラリア共和国 駐日大使 ユッタ・シュテファン＝バートル スイス連邦 駐日大使 ポール・フィヴァ ブラジル連邦共和国 駐日大使 ルイス・アウグスト・デ・カスト ロ・ネーベス ポルトガル共和国 駐日大使 ジョアオン・ペドロ・レオネ・ザ ナッティ・ロドリゲス

3/26	メキシコ合衆国 駐日大使 ミゲル・ルイス＝カバニャス・イス キエルド
3/26	ロシア連邦 駐日大使 ミハイル・ミハイロヴィッチ・ペーレイ ヨルダン・ハシェミット王国 臨時代理大使 ディマイズ・ヘイ ル・モハメッド・ハダッド アナウンサー/ジャーナリスト 見城美枝子 ヨルダン・ハシェミット王国 臨時代理大使 ディマイズ・ヘイル・モハメッド・ハダッド シリア・アラブ共和国 臨時代理大使 ラニア・アルハジ・アリ

## 組織

総館長

沖村憲樹(平成20年4月より)

館長

毛利 衛

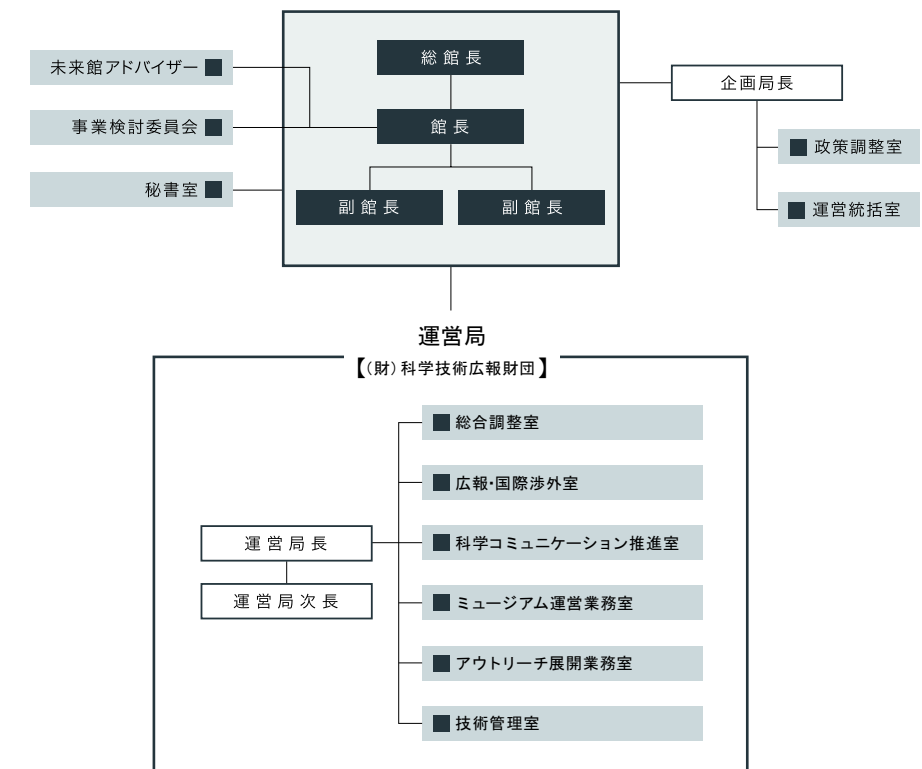
副館長

中島義和

小中元秀(平成20年8月より)

### 組織体制

(独)科学技術振興機構(JST)は、平成18年度に競争入札を行  
い、平成19年度より館長などのトップマネジメント業務を除  
くほぼすべての業務を民間(注1)に委託した。また運営に関し  
ては総合監修委員会(注2)の監修を受けている。



(注1)

運営局業務:(財)科学技術広報財団、清掃・外構植  
栽管理:東京ビジネスサービス株式会社、防災セン  
ター(警備・ビル管理):共立管財株式会社

(注2)

総合監修委員会

委員長

安西祐一郎(慶應義塾 塾長)

委員

金澤一郎(日本学術会議 会長)

小宮山宏(東京大学 総長)

綱裕之(豊田工業大学 副学長)

佐々木正峰(独立行政法人国立科学博物館 館長)

高柳雄一(多摩六都科学館 館長)

辻篤子(朝日新聞 論説委員)

豊田皓(株式会社フジテレビジョン 代表取締役社長)

中井昌幸(トヨタ自動車株式会社 常務役員)

中村桂子(JT生命誌研究館 館長)

増田宏一(日本公認会計士協会 会長)

山極隆(玉川大学学術研究所 教授)

# 沿革

平成7年度	<b>平成7年11月</b> 科学技術基本法が成立	科学技術創造立国を目指すことを目的とした科学技術基本法が成立した。
平成8年度	<b>平成8年7月</b> 科学技術基本計画が策定	同法の成立を受け、科学技術の振興に関する総合的・計画的な施策を推進するための科学技術基本計画が策定された。魅力ある科学館等の整備とそのネットワークの強化、研究開発成果の公開、科学技術に関する社会の関心を高めるための議論の場の設定等が盛り込まれた。
平成10年度	<b>平成10年12月</b> 「国際研究交流大学村」の建設が決定	文部省、通商産業省、科学技術庁の3省庁(*1)が合同で、東京臨海副都心地区に「国際研究交流大学村」を建設することが決定。科学技術振興事業団(*2)は、最先端の科学技術の展示、展示方法の開発、研究者の交流等を通じて、科学技術の情報を発信していく施設を整備することとなった。 *1：平成13年1月 省庁再編成により文部科学省、経済産業省の2省となる。 *2：平成15年10月 独立行政法人科学技術振興機構となる。以下同じ。
平成11年度	<b>平成12年3月</b> 展示計画・活動方針の検討、館の整備が進行。	科学技術振興事業団は、日本科学未来館のあり方等についての審議を行うため、理解増進新規事業推進室、総合監修委員会を設置し、展示計画、活動方針などについて具体的な検討を重ね、それをもとに館の整備が進められた。
平成12年度	<b>平成12年9月</b> 正式名称を「日本科学未来館」に決定	施設の基本理念を簡潔に表現しているとして、施設の名称を「日本科学未来館」に決定し、公表した。また、総館長に吉川弘之（東京大学名誉教授）、館長に毛利衛（宇宙飛行士）の就任を決定した。
	<b>平成13年3月</b> シンボルマークが決定	「地球と衛星軌道」「細胞分裂」「地球上の様々なネットワーク（人と人、情報など）」「電子の動き」などをイメージさせ、日本科学未来館の展示の4テーマ「地球環境とフロンティア」「生命の科学と人間」「技術革新と未来」「情報科学技術と社会」を表している。（シンボル・マーク・デザイン：廣村正彰）
平成13年度	<b>平成13年6月</b> 展示物第1期工事完成	展示の分野ごとに、専門的見地から内容を監修してもらうため、第一線の研究者を科学技術アドバイザーに委嘱し、推進していた展示物等の整備が完了した。
	<b>平成13年7月9日</b> 日本科学未来館が開館	
	<b>平成14年3月</b> 展示物拡充工事完成	二足歩行ロボットASIMOの展示・実演、「生命の科学と人間」コーナーの改装、防災科学技術研究所のHi-Netからのリアルタイム地震データを利用した展示、スーパーカミオカンデの1/10スケールモデル等の展示物拡充が完了した。
平成14年度	<b>平成14年10月</b> 展示物拡充工事完成	「地球生命と宇宙、40億年の挑戦（国際宇宙ステーション）」の展示が完成した。
平成15年度	<b>平成16年3月</b> プラネタリウム 「MEGASTAR-II cosmos」の導入	オリジナルコンテンツ「新しい眺め」を開発し、ドームシアターガイアのコンテンツとして常設化した。
	<b>平成15年度</b> 「時間旅行」展巡回	初の海外巡回。内容をバイリンガル化し、海外（中国、メキシコ）で開催した。
平成16年度	<b>平成16年7月</b> 日本科学未来館3周年記念式典・ 名誉館員顕彰制度	日本科学未来館の開館3周年を記念して「3周年記念式典」を開催した。また、科学技術に対して顕著な貢献をし、かつ日本科学未来館の事業に貢献した研究者を顕彰する「名誉館員顕彰制度」を設立し、ノーベル賞受賞者白川氏、小柴氏らが出席する顕彰式を行った。
	<b>平成17年1月</b> ロゴマークの変更	日本科学未来館のロゴマークを「MeSci」から「Miraikan」に変更した。
平成17年度	<b>平成17年4月</b> ブランドプロジェクト開始	未来館独自の価値や将来にわたる約束を明文化し、未来館ブランドを構築するためのプロジェクトを開始した。
	<b>平成18年3月</b> スローガンの制定	未来館の姿勢を表すスローガン「科学がわかる 世界がかわる」を制定した。
平成18年度	<b>平成18年10月</b> オフィシャルパートナー第一号が決定 公募により副館長就任	
	<b>平成19年3月</b> 1階「企画展示ゾーン」改修工事完了	企画展やイベントのスペースとして用いてきた「催事ゾーン」（約800m <sup>2</sup> ）を拡張し、「企画展示ゾーン」（約1,520m <sup>2</sup> ）を設置した。
平成19年度	<b>平成19年4月</b> 民間委託の拡大による運営体制に移行	
平成20年度	<b>平成20年4月～21年4月</b> 常設展示の大規模改修	メディアラボ、国際宇宙ステーション、地球環境、技術革新と未来の各ゾーンを改修。